

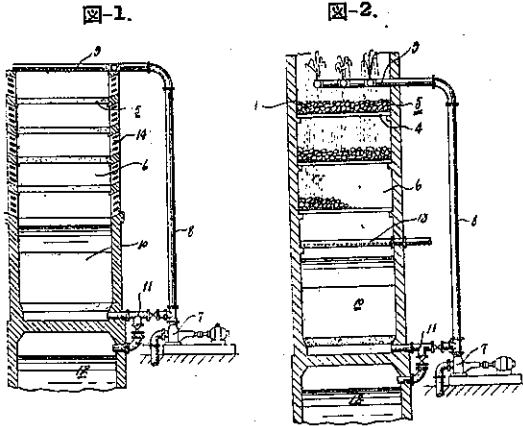
# 特許紹介

第 22 卷 第 8 號 昭和 11 年 3 月

## 浄水装置

(特許第 113581 號 出願 10-3-6  
 發明者 津田霞次郎 特許權者 合資会社津田式ポンプ製造所)

此の浄水装置は、簡單安價な棚板によつて水の氣曝表面積を可及的に大ならしめ、迅速安全に酸化の目的を達すると共に、常に新鮮な通水表面を形成せしめようとするものであつて、即ち、礫石の如き小塊物(1)を板狀に結合して極めて複雑な不正形の水の通路を形成せしめた多孔性棚板(5)を適宜間隔を置いて上下に配列し、棚板から落下する源水をして次段棚板上常に不定



位置に撃突せしむるやうにしたものである(図-1~図-3)。尚図中(8)は源水ポンプ(7)に連る原水管、(10)は濾過槽、(12)は浄水槽を示す。

## ブロック壁構築方法

(特許第 113604 號 出願 9-7-30  
 發明者 (匿名者) 特許權者 谷田 巖)

此の發明は極寒の地でコンクリートブロック建築又は煉瓦建築が施工し得る方法を得んとして考案せられたものであつて、即ち内部に通氣孔を有するコンクリートブロック(又は煉瓦)を使用し、ブロック列の一端に位置すべきブロックの通氣孔に加熱瓦斯を送給しつゝブロックをその通氣孔が隣接するブロックの送氣孔に順次運送する様にして、順次接着剤で接着せしめ乍らブロックの重積を行ふ方法である。

## 軌道兼用道路車輪

(特許第 113612 號 出願 9-10-23  
 發明者 特許權者 伊藤孝代司)

## 溢流自在堰

(特許第 113620 號 出願 10-4-1  
 發明者 (匿名者) 特許權者 三野 朋雄)

此の發明は上下兩水面間を水路を以て連絡し、階段狀に流下せしめる場合各堰板の高さの差を堰板が如何なる傾斜にあつても常に同様ならしめつゝ溢流水深を自在に調節し得る堰を目的としたものであつて、即ち數個の堰板(1)(2)(3)を水路底部に流水と直角の方向を軸として迴轉する様に取付け、各堰板の兩端より上

図-4.



部に突出せる鉄柱の上部を鉄棒(4)で連結し、平行四邊形の理によつて迴轉するやうにし、鉄棒にロープを連結し、捲取機にロープを連結し、各段階をなす數個の堰板を同時に変動するものである(図-4)。

## コンクリート防水方法

(特許第 113622 號 出願 9-11-7  
 發明者 (匿名者) 特許權者 村上 源七)

此の發明は、防水膜とコンクリート地との間に砂又は紙料より成る絶縁材を介在せしめて、防水膜とコンクリート地とを別個に膨脹收縮する様にしたものである。

## 電気銲接棒に厚き被覆を施す方法

(特許第 113633 號 出願 9-8-1  
 發明者 特許權者 日立製作所)

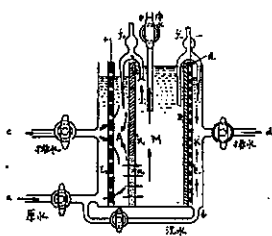
此の發明は、被覆材に適當の濃度を有する珪酸曹達及び炭酸アンモニヤの水溶液を混合して之を銲接棒の外周に被着し、乾燥膠着せしむる方法である。

## 電気浄水装置

(特許第 113647 號 出願 9-9-14  
 發明者 奥野 治雄 特許權者 通商大臣)

電気浄水に於て、經濟的に極く良質の浄水を得る爲には陰陽兩室の洗水方式が極めて重要である、此の發明は浄水の一部を洗水に有効に利用し2段に洗水する方法であつて、即ち3室(又は2室)から成る電槽を使用し、中間室(M)又は陰室(K)式は陽室(A)から浄水を取り出す電気浄水方法に於て、浄水の一部を自然溢流又は溢流サイフォン(f+) (f-)により陰室陽室又は其の兩者の上層へ流水し、浄水の取出管(e)の先端

図-5.



より僅か低水位に設けた排水口から放水せしむる方法である。之に依れば、浄水の一部を装置に於て電氣力の作用を受けたイオン分布の平衡状態に何等の影響を與へる事なく、有效に透明膜 (m<sub>2</sub>) 部の洗水に使用し得る。又排水口の位置を上記の如くする事に依り、取出口附近の水位に於ける他室の水は常に清浄なる水を以て洗滌せらるゝから浄水度が高まる(図-5)。

セメント原料の顆粒結成式方法

(特許第 113673 號 出願 10-2-27  
發明者 橋本太郎、寺門一ニ 特許権者 大阪セメント株式会社)

此の發明は、從來公知の方法のやうに廻転円筒を用ふる事なく、之よりも簡単な構造の例へばシエーキングコンペヤー等を用ひて原料輸送中に容易簡單で且つ効率よくセメント原料の顆粒を結成せんとするものであつて、即ちセメント乾式原料粉末に適當の水を注加しながら、主として水平振動運動を與ふる方法である。

安定乳劑の製造法

(特許第 113498 號 優先權主張 7-11-1  
特許権者 インターナショナル ビジネス・エマルジョンズ コーポレーション)

此の發明は、アルカリ性ゼイネードを含んだ瀝青又は油の乳劑に於て P. H. を略 8.5 に中和する事を特徴とする安定乳劑の製造法であつて、之に依り破壊分離或は相の転化に擴する乳劑を得んとするものである。

セメントダスト處理法

(特許第 113753 號 出願 10-2-5  
發明者 横山文司 米山光二 特許権者 株式会社セメント)

此の發明は、セメント製造の際燒窯から排出せられる粉塵即ち所謂セメントダストを塊粒片状等に成形し、次で之を水其他適宜の溶媒に浸漬し、可溶性物質を溶出せしめるセメントダスト處理法であつて、之に依りセメントダスト中の水溶性加里分又は其他の可溶性鹽類を容易且つ充分安全に抽出し得せしめると共に、殘渣をセメント製造原料に、又抽出液を硫酸加里製造原料等に提供し得せしめんとするものである。

ポルトランドセメント類の風化を豫防し且つ其の強度を増加せしむる方法

(特許第 113801 號 出願 9-11-24  
特許権者 (發明者) 磯野重中)

此の發明は、ポルトランドセメント類に少量の吸収

吸着性強大であつて、水酸性に富む珪酸鹽即ち福島縣安積郡多田野村及び穂積村附近に産出する石英組面岩天然分解物の微粉末を配合する方法である。

セメント製造法

(特許 113959 號 出願 8-3-9  
發明者 横山文雄 横山文司 特許権者 株式会社セメント)

此の發明は、少量のセメント又は塊塊の活性微粉を用ひ、原料と同等乃至夫れ以上で任意希望の物理性化学性を具備する優秀なセメントを容易且つ廉價に得んとして考案せられたものであつて、即ち水硬性セメント類又は其の塊塊粉末で凝結性、強度、粘力等を具備する径略 25 ミクロン以下の活性微粉と、之に物理的安定性、化学的堅牢性等を附與する如き上記原料以外の適當な無物質粉末とを混和するセメント製造法である。

瀝青乳劑製造法

(特許 第114032 號 出願 8-10-23  
發明者 西川亮一、小平勝司 特許権者 日本石油株式会社)

此の發明は、瀝油精製の際に生ずる廢アルカリ液にアスファルトピッチ等を分散混和せしめて瀝青乳劑を製造する方法であつて、廢棄物を利用して優良な製品を廉價に製造するを目的としたものである。

(附) 登録實用新案

- 井筒装置 (第 214958 號 公告 10 年第 11411 號  
實用新案権者 柴田 太郎)
- セメント液調整装置を有するコンクリート混合機 (第 215179 號 公告 10 年第 11477 號  
實用新案権者 日本建設株式会社)
- 管接手 (第 215217 號 公告 10 年第 11504 號  
實用新案権者 三菱重工業株式会社)
- コンクリート製造用槽 (第 215394 號 公告 10 年第 10033 號  
實用新案権者 磯口 幸太郎)
- コア採取管 (第 215383 號 公告 10 年第 11349 號  
實用新案権者 鹽田 岩治)
- 鋪道攪固機 (第 215406 號 公告 10 年第 9486 號  
實用新案権者 カスマール、ウィングレル)
- 井筒構成装置 (第 215111 號 公告 10 年第 6269 號  
實用新案権者 中村 金藏)
- コンクリート管耐水伸縮接手 (第 215425 號 公告 10 年第 9495 號  
實用新案権者 日本セニーム管株式会社)
- 灌漑用水調節器 (第 215438 號 公告 10 年第 11041 號  
實用新案権者 瀧山 和次郎)
- 鉄筋コンクリート管 (第 215718 號 公告 10 年第 6761 號  
實用新案権者 下湯 北木之助)
- コンクリート固着用ボルト (第 215728 號 公告 10 年第 3235 號  
實用新案権者 増島 金太郎)
- コンクリート管の接手 (第 215763 號 公告 10 年第 9628 號  
實用新案権者 第 215769 號 日本セニーム管株式会社)